

## 会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度 第3回公民館運営審議会
開 催 日 時	令和8年1月29日(木) 午前9時30分～午前11時30分
開 催 場 所	市庁舎6階 604会議室
出 席 者 の 氏 名	生野 元、小園井 勇次、庄司 賢一、相田 肇、内野 光男、間庭 秀男、 加藤 市男、三原 由紀子、高柳 進、高橋 伸二、浅田 衛、田中 雅文、 倉持 伸江、奥井 祥三
欠 席 者 の 氏 名	佐藤 良一
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 事	(1) まちづくりセンター利用者アンケートについて (2) 今後の審議事項とスケジュールについて (3) その他
会 議 資 料	資料1 まちづくりセンター利用者アンケート概要(案) 資料2-1 今後の審議事項とスケジュールについて 資料2-2 近年の答申・提言 資料3 二十歳のつどい報告 当日配布資料1 文部科学省HP 抜粋 優良公民館表彰 当日配布資料2 富岡シニアスマホ学園の事業報告
担 当 部 課 名	市民部 市民部長 大出 久美 市民部次長 佐藤 尊之 松井まちづくりセンター センター長 澤 敦史 富岡まちづくりセンター センター長 粕谷 紀夫 小手指まちづくりセンター センター長 小川 和彦 山口まちづくりセンター センター長 小林 宏行 吾妻まちづくりセンター センター長 深谷 康博 柳瀬まちづくりセンター センター長 奈良 和子 三ヶ島まちづくりセンター センター長 小川 桂子 新所沢まちづくりセンター センター長 廣谷 貴紀

新所沢東まちづくりセンター	センター長	新井 浩巖
所沢まちづくりセンター	センター長	青森 理子
並木まちづくりセンター	センター長	吉永 寿久

(事務局)

市民部

地域づくり推進課	主幹	加賀谷 春恵
----------	----	--------

地域づくり推進課	主査	有沢 法夫
----------	----	-------

地域づくり推進課	主任	西澤 明花
----------	----	-------

地域づくり推進課	主事	田村 諭
----------	----	------

地域づくり推進課	主事	瀧 裕介
----------	----	------

市民部 地域づくり推進課

電話 04 (2998) 9083

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
地域づくり推進課主幹	<p><b>【1 開会】</b> 地域づくり推進課主幹の司会により開会した。</p>
市民部長	<p><b>【2 市民部長あいさつ】</b> 市民部長のあいさつが行われた。</p>
会長	<p><b>【3 会長のあいさつ】</b> 三原会長よりあいさつが行われた。 年度末に向けてお忙しい中、ご出席いただき、御礼申し上げます。市内の小中学校では、インフルエンザが流行し、学級閉鎖等が生じていると聞いている。委員の皆様においても体調には気をつけて地域活動などしていただければと思う。公民館が市長部局へ一元化されてから1年が過ぎようとしているが、まちづくりセンターを利用している方や地域で活動している方から、何か話を伺っている委員がいらっしゃったら、この審議会の中で発言いただき、より良い公民館活動ができるように我々は望んでいる。</p> <p>議事に入る前に、会議の公開・非公開と記録方法について確認する。 現在の任期中の会議は「情報公開条例」第25条により公開、会議資料・会議録も原則公開とし、会議録は、要約方式として発言者の名前は記載せずに「委員」と表記し、会議録の確定は会長の承認で行うこと、また、当審議会の書記を地域づくり推進課が行うことを昨年8月1日の本審議会において、了承をいただいている。</p>
事務局	<p><b>【4 議事】</b> ※傍聴者5名、入室</p> <p>(1) まちづくりセンター利用者アンケートについて 事務局から説明が行われた。（資料1）</p>
会長	<p>この審議会での意見も受けてアンケートを実施し、モニタリングをしたとのことでしたが、委員のみなさんからご感想ご意見があればお願いします。</p>
委員	<p>スマホ講習会や設備に関する要望など、高齢者にありそうなものが多くなった。回答者に若い人が多ければ、意見も変わっただろう。</p>

委員	<p>まちづくりセンターによっても立地や設備が違い、結果は違ってくる。新所沢東の場合は使える部屋が少なく予約がとりにくくて、地元の人が使いにくい。まちづくりセンターによって不公平感がある。まちづくりセンターの職員はとても親切で良いと思っている。</p>
委員	<p>所管が変わっても多くの人の変化を感じていないというのは、良いことだと思った。共通の意見として、トイレの洋式化や地区体育館のエアコン、Wi-Fi整備など、共通した設備面の意見も目立つ。そのようなことを今後、検討してほしいと思う。</p>
会長	<p>順番であってもいいので、まちづくりセンターのハード面の整備が進んでいて、より使いやすくなると良いなと思う。</p>
委員（社会教育課長）	<p>若い世代に使ってほしいということだが、令和6年度の365の公民館主催事業のうち、約3割は若い世代向け（青少年、親子向け事業）に意識して実施しているはずであり、アンケートの回答者の結果と乖離している印象。若い人は事業には参加するが、サークル活動への参加はあまりしていない、ということだろうか。</p> <p>社会教育課では、今年度から地域ジュニアリーダー養成事業をまちづくりセンターや児童館、自治会などの協力で実施している。まちづくりセンターから学校への情報提供など、今後もまちづくりセンター、そして地域の方々とも連携して進めていけたらと考えている。</p>
会長	<p>若い世代向けの事業の効果検証も必要。まちづくりセンターでの参加者へのアプローチの仕方が重要になってくると思うが、何かまちづくりセンターからはあるか。</p>
並木まちづくりセンター長	<p>並木地区では隣の所沢中央高校陸上部の協力で小学生向けにかけっこ講座を実施。</p>
委員	<p>今年の2月15日に富岡地域づくり協議会を中心に三世代まつりを開催します。今回、富岡シニアスマホ学園の学生ボランティアに参加募集をかけたところ、応募が9名あり、応援に入っただけの予定です。昨年、コロナ後に再開された三世代まつりに、若者のボランティア参加も加わり、大変嬉しい限りです。</p>

富岡まちづくり センター長	<p>今、委員のお話にあるように、富岡シニアスマホ学園の学生ボランティアは、「地域活動を担う人材」であり、「パートナー」であると認識することが、重要と考えています。</p> <p>これまで、学生ボランティアは、少ない職員数を補ってくれるヘルパー的なイメージでした。しかし、富岡まちづくりセンターでは、学生ボランティアの要望とやる気に応える事業企画・運営をすることで、やる気を引き出し、「地域活動を担う人材」となっています。</p> <p>現在、富岡まちづくりセンターでは、学生ボランティアから要望・やる気のあった分野に対して「活躍の場」を提供しています。</p> <p>たとえば、「とみおかお茶会」は、多世代交流を図りたいとの要望で実現し、狭山茶を学び、飲みながら参加者との交流を深めました。</p> <p>また、「まちの保健室」では、参加者の話し相手や事業チラシ・看板等を作成したり、より多くの参加者が集まるようなアイデアを考えてもらったり、事業企画にも携わっています。</p> <p>「とみおか☆キッズチャレンジ」では、受付等の事務だけでなく、子ども達と積極的に交流し、参加しやすい雰囲気づくりに目を配っていました。</p> <p>「ハロウィンイベント」では、コスプレで参加し、運営のサポートをしつつ、イベントを盛り上げてくれました。</p> <p>こうした点に留意した上で、今後も学生ボランティアに「活躍の場」を提供していきたいと考えています。</p> <p>なお、こうした活動をとおして、所沢市の仕事に魅力を感じ、就職先として所沢市役所を希望する学生ボランティアも出てきています。</p>
委員	<p>高齢者の利用が多いのは悪いことではない。アンケート概要(案)を見ると、青少年育成事業や子育て向けの親子事業など見ると若い世代の事業への参加は少なくないし、地区体育館の利用など、実際は数字より幅広い利用者がある印象である。ハード面については、どうしても施設や設備上の関係で大きな音が出せないなど活動が制限されてしまうことがある。設備面も充実してもらえたらよいかと思う。</p>
会長	<p>アンケートでは見えない面がいろいろあるなと思う。富岡のボランティアの「パートナー」という考え方はすばらしいと感じた。</p>
委員	<p>審議会の意見も踏まえたアンケートの実施ということで感謝する。実際は事業の3割が若い世代向けなど、アンケートからは見えない部分があるなと感じた。所沢の若者向けの事業は他市と比べても頑張っている印象である。</p>

	<p>アンケートは、まちづくりセンターの主催事業、サークル、窓口などすべてのまちづくりセンター利用者を対象にしたと思うが、回答者が偏った可能性があること、実際は若者向けの事業や利用もあるなどの補足をに入れていただけたらと思う。この結果で「公民館は高齢者のための施設」などと受け取られては、もったいない。</p> <p>紙の場合に QR コード、ホームページからはリンクなどにより、公民館事業の一覧や、優良公民館表彰の情報につなげるなどしてもよいのではないかと思う。</p> <p>モニタリングは今回が出発点。今後、例えば主催事業など絞って、多くの若い層のニーズをとらえる調査などしてはどうか。主催事業参加者から感想だけでなくまちづくりセンターの評価ももらうとか、利用サークルによるまちづくりセンター評価なども入れられるとよい。公民館事業者とサークル利用者への調査を並行してやってほしい。</p>
会長	<p>確かに、若い人へのアプローチは今回のアンケートでは見えてこないので、対象ややり方を変えて、第二弾の調査があると良い。</p>
副会長	<p>意見を受けてアンケートの実施、ありがたい。利用者の声を聞くことは大切と改めて感じた。自由記述の意見はおもしろいと感じた。設備の状況は各センターにより違うだろうが、トイレ、エアコン、Wi-Fi への要望など、受け止め検討していただくことは大事。</p> <p>今回の調査結果から、利用者の意識と期待の高さを感じた。学びたい、交流したい、つながりたいといった思いをどのように事業に反映させていくかが大切。これらの要望が年齢層を問わず出ているのが興味深かった。</p> <p>講座の参加者に事業だけでなくまちづくりセンターへの意見も聞くことやインタビューなどをするなどターゲットを絞って聞き取りを行うなども良いと思った。</p>
委員	<p>学校では今年度から全校でコミュニティスクールの取り組みがスタート。美原小でも今年度からだが、自転車でのヘルメット着用を呼びかけるポスターをこどもたちが作成し、自治会が表彰、まちづくりセンターや自治会の掲示板等に掲示するという取り組みを始めた。コミュニティスクールは始まったばかりで、いろんなチャレンジのチャンス。委員の皆さんも地域でぜひ関わってほしいと思っている。</p> <p>アンケートでは見えにくいですが、まちづくりセンターでのこども向けの事業はたくさんあると感じていて、夏休みなどにぎわっている印象。</p>

会長	地域ごとのアンケートを行うことで、地域性が見えると思う。
委員	<p>公民館は少数の人が多く利用していて、利用していない人が大多数だと思う。利用していない人の声も集めてほしい。</p> <p>気軽に利用できる公民館を目指していると思うが、5名以上集まらないと使えない、予約しないと使えないなど制約があると思うので、今後の検討事項としてとらえてもらえるとありがたい。</p>
委員	<p>今回のアンケート集計には(案)となっているが、市のHP等でこのままの形で公表する予定なのか。また、本日、意見も出ているが、若い世代、子育て世代に絞った形で、アンケートを実施することも必要になってくるのではないか。</p>
事務局	<p>今後のアンケートについては、本日いただいた意見も含め検討していきたいと考えている。今回のアンケート結果については、本日いただいた意見を参考に固めまして、公表したいと考えていますが、いかがでしょうか。</p>
会長	<p>公表に向けて固めるとのことですが、委員の皆さんいかがでしょうか。</p> <p>《一同了承》</p>
会長	<p>今回のアンケートについては、本日の審議会で出た意見を考慮して固め、付け加え公表することとしていただきたい。第2弾のアンケート等については、若い世代、子育て世代に向けてのアンケートは、まちづくりセンターごとに行う等を検討し、実施していただきたい。</p>
事務局	<p><b>(2) 今後の審議事項とスケジュールについて</b></p> <p>事務局から説明が行われた。(資料2-1、2-2)</p>
会長	<p>説明に対して、質問等がありますか。</p>
委員	<p>若い世代を引き込む事業やサークル活動があってほしいと思うが、なかなか進まない。若い人を引っ張り込む事業展開をしてほしい。また、最近の子どもたちは忙しくて自由になる時間が少ない。学校の協力を得て地域の事業への参</p>

副会長	<p>加が進むとよい。多世代交流と、地域コミュニティとの連携が大切と思う。</p> <p>一元化してどうだったのか、これからどう発展させていくのかを見える形にするのは大切。どのようなテーマとしていくのか、その意見を（委員から）いただきたい。令和5年5月の答申の中から課題を見つけるなり、テーマを絞る方向でアイデア出しするのが良いと思う。</p>
委員	<p>まちづくりセンターにより規模や設備は異なるので、事業展開が違うと思う。いろいろな事業に参加できるよう、地域以外の情報が得られるような情報提供ができるとよい。</p> <p>防災について、まちづくりセンターは避難所になっていないが、体育館などは空調の面など環境が悪い。そういう部分も考えていけたらと思う。</p>
会長	<p>正直、一元化によりハード面での整備が進むのではないかという期待はあった。</p> <p>また、まちづくりセンターの横断的な情報提供があるとよいと思う。</p>
新所沢まちづくりセンター長	<p>情報提供について、各センターで広報紙を出しており、まちづくりセンターに配架するなどしているが、足を運ばないと入手できないといった課題があった。市のHPにも掲載しているが、まちづくりセンターのSNSアカウントを使ってお知らせし、情報が得られるよう、検討しているところである。</p>
松井まちづくりセンター長	<p>松井まちづくりセンターでは、事業の申し込みに電子申請を導入。事業の情報とはところざわほっとメールで流すが、そこに申し込みの電子申請へのリンクを付けることで、地区外や日中の電話申し込みがしにくい人たちの参加が増えた。</p>
市民部長	<p>こども未来部が運用する所沢市公式LINE「所沢市こども・若者情報チャンネル」にこどもや子育て世代向けのまちづくりセンターの情報を掲載するなどの取り組みをしている。「所沢市こども・若者情報チャンネル」は、この世代への給付金の交付があったときに登録してもらったことで、こどもや若者世代にダイレクトに情報を届けることができている。</p>
会長	<p>情報提供については、様々なアプローチ方法があると思う。まちづくりセンターの事業については、地区外の住民でも参加可能なのか。</p>

全センター長	<p>市民が対象となっているので、多くの事業は地区外からの方も参加することは可能。</p>
委員	<p>根本的な問題は人口減少。町内会など地域活動も後退してしまう。町内会の加入者が減り、収入も減る。これは、地域の公民館活動にも影響すると思う。</p>
市民部長	<p>所沢市の状況は、転入・転出による社会増減は転入が上回り増加したが、出生・死亡による自然増減は死亡が上回り、全体で人口は緩やかに減少している。北秋津地区等の区画整理や大型マンションの開発などにより転入が増え、将来人口推計でも34万人を切るタイミングが当初の見込みより少し先に延びると予測になっている。</p> <p>転入が増えても、地域活動に参加してもらおう方が増えない現状があり、なかなか難しい状況である。市でも開発事業者の方へ説明や転入者へ自治会加入のパンフレット配布などいろいろな取組をしているが、特効薬はない。</p> <p>各自治会などで、自治会未加入者なども含めて、地道に地域のつながりに資する取り組みを進めていくことが大切だと思う。</p>
委員	<p>地域活動では、創意工夫が必要。自分の町内会では、新年会に新規の会員を全て招待してもてなす。若い人に班長などから経験してもらって体制作りをしている。地域のこどもの声も励みになる。こどもたちを地域で育てていきたい。</p>
会長	<p>地域の中で、自治会・町内会になかなか加入してもらえないなどの問題がある中で、地域コミュニティの向上に、まちづくりセンターは核となると思う。</p>
市民部次長	<p>所沢市には約260の自治会があるが、自治会の集会所でほぼ公民館活動に同等な活動を展開している例がある。そういった地域の「公民館活動」など今後のまちづくりセンターの公民館事業へのアイデアや課題を出していただき、地域コミュニティにフィードバックできる事業展開や関わり方をしていきたい。</p> <p>新たなまちづくりセンターのスタートの年、ターゲットを絞ったモニタリングや、公民館運営審議会の意見などを活かしていきたい。</p>
会長	<p>地域コミュニティにとって、単位自治会は大事。自治会に加入しているしていないに関わらず、地域のつながりを作りたい。その願いを橋渡しできたらと思う。</p>
委員	<p>新たなまちづくりセンターが、地域コミュニティを支える施設になってほしい</p>

	<p>い。中央教育審議会でもまもなく答申が出るが、そのテーマも「地域コミュニティ」を重要視している。地域コミュニティを支える公民館事業を考えていくことがいいのではないかと考える。</p> <p>そのために、地域のいろいろな層のデータ、把握は必要。講座の若い参加者、サークル、まちづくりセンターを使っていない人などの声を聞くなど、調査やアンケート、インタビューなど行ってほしい。来年度の実施は難しいかもしれないが、予算を確保し専門の調査会社に委託して行うことも検討いただければと考える。</p> <p>それから、令和5年の公民館運営審議会の答申に、一元化後も制度上の公民館として、特定公民館としてきちんと位置付けるという意見を付したが、現状どのようなになっているか検証が必要と思う。</p> <p>本日この審議会前に外で公民館を考える市民の会から資料を手渡された委員もいると思うが、まちづくりセンター設置条例の問題を考えてほしいとのことである。これ以外にも「月刊社会教育」に批判的な内容の記事がでたり、日本社会教育学会でも所沢市の条例には問題があると話が出たりしている。それについて、今期の最後に見解を出せたらと考えている。</p> <p>市民部が施行規則を丁寧に作成したが、制度上は条例が基本。いずれは条例改正が必要と思う。今期の最後に意見を付したい。</p> <p>しかし、所沢市は、まちづくりセンター設置条例に公民館運営審議会を入れてくれた。社会教育法では、公民館運営審議会は必置ではなくなっているが、所沢市は、市長部局に移管後も公民館運営審議会を設置するとの条文を入れてくれたのが、最大の良かった点だと思っている。</p>
会長	<p>委員から出た意見については、任期期間中に議論をしていきたいと考えている。各地区、各まちづくりセンターでも議論をする機会があれば、お願いしたい。最終的に公民館運営審議会の中でまとめることができればよいと考えている。議事2については、今回出た意見を踏まえつつ、今後検討していく。</p>
会長	<p><b>(3)その他</b></p> <p>その他、共有事項がある委員はいるか。</p>
委員(社会教育課長)	<p>二十歳のつどいについての報告があった。</p> <p>昨年11月に社会教育課から委嘱をしている社会教育委員で、2か所(富岡・新所沢東)のまちづくりセンターを視察させていただいた。いずれのまちづくりセンターでも地域の方々と良好な関係を築けているのだと感じることができた。</p>

<p>会長</p>	<p>その他に報告はありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局より富岡まちづくりセンターの取り組みが表彰されたことについて、報告。(当日配布資料1)</p> <p>これで議事については全て終了した。</p>
<p>副会長</p>	<p><b>【4 閉会】</b></p> <p>《副会長あいさつにて閉会》</p> <p>ご協議ありがとうございます。本日は活発な意見交換ができたと思う。数少ない会議ではありますが、今後ともよろしく願いたい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>